

生徒会役員改選選挙



10月8日(木)に生徒会役員改選のための立会演説と選挙が行われました。それぞれ開中学校を良くしていきたいという事でマニフェストを語り自分に投票してほしいと思いを伝えていました。10月20日(火)の朝には全校朝会で新しい生徒会本部の生徒たちに任命書が渡されました。牧原校長より新役員には「ただ生徒会役員をしましたということだけではなく、自分から具体的にこんなことに取り組んで頑張りましたと言えるような活動をしてほしい。」と激励の言葉がありました。

収穫直前



11月14日(土)にゴルフ練習場の跡地に2年生が栽培しているイモの収穫が予定されています。学校事務補助員が同じ苗で花壇の一部で栽培したものを試しに掘り出してみました。立派なイモが育っていて、芋ほりが楽しみです。昨年度からの取組で、収穫の時、生徒たちが笑顔で掘っていたことを思い出します。今年も笑顔溢れる収穫になってほしいです。また、学校応援団で栽培を指導していただいている今村 秀一さんや中野 政道さんにも感謝です。収穫でもよろしくお願ひします。

学力向上タイム



毎月第2土曜日は授業の日です。この日は、1校時に「学力向上タイム」として、全職員で全学年での生徒を対象に実施しています。また、つまづいている生徒には個別に指導を行っています。10月の学力向上タイムでは1年生が英語、2年生が国語、3年生が数学を指導しました。「あ〜なるほど!」、「先生、わかりました。」という声が聞こえてきました。分からない苦しみを、分かる喜びに変えていけるように全職員で取り組みます。学校での取組を定着させるためには、家庭学習が必ず必要になります。各家庭では学習の見届けをお願いします。

研究授業



10月14日(月)に1年生国語の授業で宮地教諭が研究授業を行いました。教育委員会から指導主事を招いて授業の様子を見ていただき、より良い授業づくりができるようアドバイスをいただきました。来年度から中学校では学習指導要領(どの学校に在籍しても一定の教育が受けられるようにするための基準)が改訂され、文部科学省から「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善を行うことになっています。今年度はこれまでも、音楽の須崎教諭や保健体育の東中川教諭も研究授業を実施して、いかにして「主体的・対話的で深い学び」を生徒たちができるようになるか研究をしてきました。全教科で実施していきますので、授業参観等で授業がどのように変わったか注目して見てください。

公衆電話前



毎週木曜日はノー一部活動デー、定時退校日として設定してあります。自家用車での送迎が多いため、正面玄関に設置してある公衆電話の前には長い列ができています。木曜日以外も終了時刻には部活動を終了してはいますが、やはり電話待ちの長い列ができて、電話をかけた後、保護者の送迎待ちで暗い中、生徒たちが長く迎えを待っている状況があります。部活動終了後歩いたり、自転車に乗ったりしたら早く帰ることができると思いながら暗闇で待つ生徒たちの安全を心配します。ちなみに、この日は全部の生徒が電話をかけ終わるまで20分以上の時間がかかっていました。

租税教育



新聞等でも取り上げられましたが、本校は平成31年度と令和2年度の2年間県租税教育研究委嘱校として指定を受けて、租税教育に取り組んできました。図書室にも税に関する特設コーナーを設置したり、指宿法人会青年部や税務署の方々の授業をおこなったりして税について学習をしました。その集大成を11月19日に発表をすることになっていたのですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため発表会は中止となり、紙面での発表となりました。しかし、2年間の取組をまとめた冊子は完成させることができました。子どもたちが税に関して興味をもち、将来社会に貢献できるような活躍をしていってくださることを期待したいと思います。